



センター長あいさつ (藤敷庸二)

児童家庭支援センターの母体である NPO 白浜レスキューネットワークでは、毎年小学生たちを集めて SEEK キャンプという活動を行っています。親元を離れて団体生活をし、自然の中で思いっきり遊び、様々な体験から、大事なものを探して見つけることが目的です。

今回は、二泊三日のキャンプを3回に分けて行い、小学一年生から六年生まで異年齢の合計 68 名が参加してくれました。富田の高瀬川で沢登りをし、法華塔山でハイキングを楽しみ、対の浦浜で海水浴をし、川や山に海にと満喫しました。宿泊場所としては、株式会社ニッポー様の保養所「白浜荘」を貸し切りで使わせていただき、涼しい部屋で、食事作り、布団敷き、掃除はもちろんのこと、歌って踊って体と頭を使ったゲームを楽しんだりして、朝から晩まで濃厚濃密な二泊三日となりました。知らない者同士が、仲間になっていく過程は重要な体験です。二泊三日の間に、やがて仲良くなり、最後の日には、お互いに別れを惜しむ関係となり、素敵な夏の思い出になったことでしよう。中国、インド、アメリカ、日本と参加者の国籍も様々、異文化間コミュニケーションを体験してもらうことも目玉の一つでした。自然にどっぷり浸かり、言葉が通じなくても仲良くなれる体験を通して、それぞれにとって大事なものを発見する。このかけがえのない体験が、子どもたち一人一人の未来の可能性を広げる豊かな経験として、心の底にしっかりと残ったことでしょう。ぜひ、来夏までの間、フォローアップの集まりを計画していきたい。

【このこ子育てセミナー (1)】「不登校のこころ —理解の大切さ—」

日時：令和7年9月28日 (日) 13:30~15:30

会場：クオリティソフト新館 (西牟婁郡白浜町中1701-3)

申込フォーム URL <https://forms.gle/roz5gG65PYVbm3kv5>

このこ子育てセミナー



※このこ子育てセミナー (1) (2) のチラシは通信今月号 3p.4p.に掲載しています。

子育てセミナー (1) 9月28日 (日) 開催

こどものこころ “理解の大切さ”

9月になり、学校の2学期も始まりました。あいかわらずの猛暑で出勤・登校するのにも、しんどい日が続きます。お伝えしていますように、このこでは、今般、「公益財団法人 資生堂子ども財団」の助成を受けて、「このこ子育てセミナー (1) (2)」を開催します。

夏休み明けのむずかしさ

夏休み明けは、子どもたちにとって、一年の中でも一番と言っているほど、心の揺れ動きが大きくなり、心身の調子に変化が見られると言われています。また、『学校に行きたくない』と感じる、行き渋りのような様態をあらわす子どもたちが多くなる時期でもあります。

不登校のこころ —理解の大切さ—

そこで、このこ子育てセミナー (1) では、上野晃先生をお招きして、不登校等で困り悩んでいる小学生や中学生、高校生の“こころ”の理解を深める学習会を企画しています。

2学期が始まり少し経ったこの時期、ご家庭や学校、そして地域や関係機関のみなさん、そして本人さん自身、不登校についての心配を抱えている方がいらっしやると思います。

そんな心配事に対処するための第一歩は、不登校の状態の時の、本人さんの“こころ”を理解することが第一であると言われます。

それでは、理解するということはどういうことか、何を理解するか、そして、どのように関わったり向かい合ったりする

か。そんなことを上野先生から学べる時間になりたいと考えています。

上野先生のプロフィール

上野先生は、1980年代の後半から、38年間に渡って不登校児童生徒や保護者、教員等への相談活動に取り組みされてきました。当地方のパイオニア的存在でもあります。

当初は「登校拒否」と呼ばれていた頃で、公的相談機関が当地方には、先生の相談室しかありませんでした。そこで、上野先生が広めたのが、「システムティック・アプローチ」という支援方法です。

学校へ行けない等の問題で悩んでいる子どもたちの学校の先生方に、上野先生の相談室に来てもらい、先生方に関わり方を助言するという方法です。少しでも多くの教師カウンセラーを学校に生じさせる取組です。今では、福祉・教育の世界では普通に使われるSV (スーパーバイズ) と言われる手法にもつながります。

この方法で、当地方の不登校に対する理解が学校で随分広がり、当時全国的にも大変注目されました。このような学校におけるカウンセリング活動は教育相談と呼ばれます。(次頁に続く)



通信のこのこ
くまのつ子 児童家庭支援センター



令和7年9月号

(第6号) (通算28号)

運営者

特定非営利活動法人白浜レスキューネットワーク

**文科科学省のCOCOLOプラン**

増加の背景は、社会の急激な変化を誰もがとりあげたいところです。少子化に加えて、高度情報化の波がネットやゲーム依存を生み出し、コロナの影響も多大であると思われます。人間関係をうまくつくりたくない子どもが増加しているという指摘もあります。

増加の背景

増加の背景は、社会の急激な変化を誰もがとりあげたいところです。少子化に加えて、高度情報化の波がネットやゲーム依存を生み出し、コロナの影響も多大であると思われます。人間関係をうまくつくりたくない子どもが増加しているという指摘もあります。

法整備も進み、2016年に「義務教育に相当する段階の教育の機会の確保等に関する法律」(教育機会確保法)が成立しました。

増え続ける不登校と法整備

1992年の学校不適応対策調査協力者会議において、「登校拒否は誰にでも起こり得る」とされ、登校拒否が「不登校」と表現されるのが一般的になりました。

登校拒否から不登校へ**不登校の現状について**

(前頁から続く)上野先生は、児童生徒に関わる教育相談活動に取り組まれるとともに、教育相談活動を担う人材育成にも取り組まれてきており、先生の指導を受けて現在も第一線で活躍されている方もたくさんいらっしゃいます。

先生のお話は、「わかりやすい」と評判です。

この機会にぜひ上野先生と一緒に、「不登校のこころの理解の大切さ」を学んでみませんか。

**上野 晃 先生**

昭和62年度より、和歌山県教育委員会教育相談主事として、紀南地方の小中高校生の不登校や登校に関する困りごとについて、多い時には年間200ケース、1200時間をこえるカウンセリングによる支援に取り組まれるとともに後進の指導にも尽力されてきました。

元 和歌山県教育センター学びの丘所長

元 和歌山県立みはま支援学校長

現在 和歌山県教育委員会スクールカウンセラー(8年目)

このような状況の中で、文科科学省は、2023年3月に、誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策として「COCOLOプラン」を発表しました。このプランは、

- ① 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整備する
- ② こころの小さなSOSを見逃さず、「チーム学校」で支援する
- ③ 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にする

という3本の柱を打ち出しています。

きめ細やかな対応

文科省は、こころのケアをするスクールカウンセラーや福祉機関と家庭をつなぐスクールソーシャルワーカーの配置増加と教員の効果的な連携のあり方も考えているようです。

児童生徒支援のさらなる充実を

不登校のみならず、いじめ等といった、子どもたちが悩み苦しんでいる状況を、少しでも打開できるように、行政の積極的な支援が実施され、社会全体でこの問題課題の解決に取り組む必要があります。

【このこ子育てセミナー(2)】「リラクゼーションセミナー」

日時：令和7年10月19日(土) 13:30~15:10

会場：白浜町立富田中学校柔剣道場(西牟婁郡白浜町栄320)

申し込みフォーム URL <https://forms.gle/QfTBXKZvkBxjSJGL7>



からだを緩めてこころを緩める

子育てセミナー(2)10月19日(日)開催**【このこ子育てセミナー(2)】「リラクゼーションセミナー —こころの安心と安定を体験する—」**

ストレス社会と呼ばれて久しい現代社会

こどもたちも、不登校やいじめの問題等で、メンタルに不調をきたすことも、珍しいことではなくなりました。大人も同様です。そこで、このこ子育てセミナー(2)は、こどもも大人も参加できるリラクゼーションセミナーを開きます。心理学の「臨床動作法」という領域の考え方で、「からだを緩める運動をすることで、同時にこころが緩まる」心理療法があります。今回は、実際に、臨床動作法を体験していただき、心の安全と安心を体験する機会を持てればと考えています。

当日は、白浜町立富田中学校の柔剣道場の畳の上でセミナーを開催します。動きやすい服装でご参加ください。

講師は、右のお二人です。

【セミナーでの体験の活用例】

- (1) 親子のスキンシップを深めながらのリラックスタイムに
- (2) 体を動かしながら教育・福祉等の訪問時の話題作りに
- (3) 授業での活動前のアイスブレイキングに
- (4) 保健室に来室する児童生徒の緊張をほぐす題材に
- (5) 集合型の研修やワークショップ、健康教室の導入時に
- (6) 疲れが溜まった時に、体をストレッチして、心をリラックスするために

**森崎 雅好 先生**

県臨床心理士会会長、公認心理師
高野山大学教授
千葉大学大学院 教育学研究科
学校教育専攻 教育心理学分野 修了

**西 真弘 先生**

臨床心理士、公認心理師
スクールカウンセラー
兵庫教育大学大学院 人間発達教育
専攻 臨床心理学コース修了



くまのっこ児童家庭支援センターのこのこ
のこの子育てセミナー(1)



不登校の こころ

理解の大切さ



公益財団法人
資生堂子ども財団

2025 **9.28** (日)
13:30-15:30
(受付13:00~)

■ 参加：先着50名/参加無料

■ 対象：保護者及びその児童生徒、地域、教育、福祉に関わっている方等どなたでも。

■ プログラム 13:30 開会
13:40 講演
15:10 質疑応答
15:30 閉会

■ 会場：INOvation SPRINGS
株式会社クオリティソフト新館 会議室
〒649-2333 和歌山県西牟婁郡白浜町中1701-3



■ お申し込み

こちらのフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/roz5gG65PYVbm3kv5>



学校へ行けなくなってきた・・・。

どうしようと悩むお子さん。どんな声掛けをしたらいいのだろうと悩む保護者や家族。児童・生徒や家族に、どのような関わりを持ってほしいのだろうと悩む先生。関わる糸口を見出そうと悩む地域・関係機関のみなさん。そんな時、少しでも現状を改善したいという思いでいっぱいになりながらも、どうしていいのかわからないと立ち止まってしまう。

そこで今回、38年の長きにわたって不登校児童生徒や保護者、教員等への相談活動に取り組まれてきた、紀南地方の相談活動の先駆者である上野晃先生をお招きします。

会では、「なぜ、こどもたちに不登校や困り感が生じるのか」「小学校や思春期の時期のこころとは」「こころの成長とはどういうことか」を考えていきます。そして現状を打開するために、「不登校のこころ～理解の大切さ」をわかりやすくお話していただきます。上野先生と一緒に、不登校への関わり方について考え、学びませんか。



上野 晃 先生

昭和62年度より、和歌山県教育委員会教育相談主事として、紀南地方の小中高校生の不登校や登校に関する困りごとについて、多い時には年間200ケース、1200時間をこえるカウンセリングによる支援に取り組まれるとともに後進の指導にも尽力されてきました。

元 和歌山県教育センター学びの丘所長

元 和歌山県立みはま支援学校校長

現在 和歌山県教育委員会スクールカウンセラー(8年目)

■ お問い合わせ

くまのっこ児童家庭支援センターのこのこ

e-mail: nokonokojikasen@gmail.com

tel: 0739-45-8818

当日の連絡先: 080-7896-2314

【主催】くまのっこ児童家庭支援センターのこのこ 〒649-2211和歌山県西牟婁郡白浜町3300-19-2F

【後援】田辺市、白浜町、上富田町、すさみ町、田辺市教育委員会、白浜町教育委員会、上富田町教育委員会、すさみ町教育委員会

【助成】公益財団法人 資生堂子ども財団



くまのっこ児童家庭支援センターのこのこ
このこ子育てセミナー(2)



公益財団法人
資生堂子ども財団



心の安心と安定を体験する

リラクゼーション セミナー

2025 **10.19** (日)
13:30 - 15:10
(受付13:00~)

参加 先着30名/参加無料

※ ストレッチ体操などのできる服装でご参加ください。

対象 保護者及びその児童生徒、地域、教育、福祉
に関わっている方等どなたでも。

プログラム 13:30 開会
13:40 体験型セミナー
14:50 質疑応答
15:10 閉会

会場 白浜町立富田中学校 体育館2階柔剣道場
〒649-2332 和歌山県西牟婁郡白浜町栄320



お申し込み

こちらのフォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/QtTBXKZvkBxjSJGL7>



ストレス社会と呼ばれて久しい現代社会

こどもたちも、不登校やいじめの問題等によるストレスで、メンタルに不調をきたすことも、珍しいことではなくなりました。大人も同様です。

そこで、このこ子育てセミナー(2)は、こどもも大人も参加できるリラクゼーションセミナーを開きます。

心理学の「臨床動作法」という領域の考え方で、「からだを緩める運動をすることで、同時にこころが緩まる」心理療法があります。

今回のセミナーでは、実際に、臨床動作法を体験していただき、心の安心と安全を体験する機会を持てればと考えています。



森崎 雅好 先生

県臨床心理士会会長、公認心理師
高野山大学教授
千葉大学大学院 教育学研究科
学校教育専攻 教育心理学分野 修了



西 真弘 先生

臨床心理士、公認心理師
スクールカウンセラー
兵庫教育大学大学院 人間発達教育
専攻 臨床心理学コース修了

お問い合わせ

くまのっこ児童家庭支援センターのこのこ
e-mail: nokonokojikasen@gmail.com
tel: 0739-45-8818
当日の連絡先: 080-7896-2314

【主催】 くまのっこ児童家庭支援センターのこのこ 〒649-2211和歌山県西牟婁郡白浜町3300-19-2F

【後援】 田辺市、白浜町、上富田町、すさみ町、田辺市教育委員会、白浜町教育委員会、上富田町教育委員会、すさみ町教育委員会

【助成】 公益財団法人 資生堂子ども財団



のこのこ広場のご案内

～親子で遊びに来ませんか～

9月

まだまだ暑さ厳しい毎日ですが、皆さん元気に過ごされていますか？
9月1日は防災の日です。1923年におきた関東大震災に由来します。最近は色々な災害が各地で聞かれ、いつ自分たちの身に降りかかるかも分かりません。特に小さな子どもを連れての避難は大変なもので、日ごろからの必要なものを備えることが大切になってきます。防災の日をきっかけに、家族で話し合ってみるのも良いですね。



親子ひろば 9:30～11:00
9月8日(月) 自由遊び・紙芝居など
9月22日(月)

親子リトミック (定員) 8組
9月17日(水) 10:00～10:40 頃
申し込みが必要です(右のQRコードから)
動きやすい服装でお越しください

のこのこ食堂
9月16日(火) 開始 11:00～
(親子 100円) ※大人一人増えるにつき+100円
(定員) 20組

のびのびリトミック (定員) 3組
9月4日(木) 10:00～11:00 頃
子どもさんの発達が気になっている保護者さん、
大勢のお友達がいる場所が苦手な子どもさんなどが対象です。詳しくはお問い合わせください。



* 開催場所について *



日	9/8(月)・22(月)	9/4(木)	9/17(水)	9/16(火)
内容	親子ひろば	のびのび リトミック	親子リトミック	のこのこ食堂
場所	白浜バプテストキリスト教会 白浜町 3137-9 (TEL 080-8889-0838)			

就学前の乳幼児とその保護者の方、妊婦さんも遊びに来てね。遊びながら子育ての悩み等お話もできます。
授乳スペース、おむつ替えスペースあります
駐車場は、はまゆう病院駐車場をご利用ください。

16日は月1回の、のこのこ食堂の日です。食堂利用は予約が必要です。利用される方は
9月11日(木)17:00 までにご予約下さい。右のQRコード又は、電話にてご予約いただけます。
※NPO 法人白浜レスキューネットワーク子ども食堂事業の一環として、のこのこ食堂を開催します。



くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

連絡先 TEL・FAX 0739-45-8818



のこのこインスタ



のこのこ HP



G mail





今年のお月見は10月6日(月)です。お月見は「中秋の名月」を祝う行事で、収穫への感謝や豊作を祈る意味が込められています。お団子や秋のお野菜、果物を並べて、まん丸で可愛いお月さまを子どもさんと見上げてみる時間も良いものですね。子どもはきっと「月より団子」になるでしょうが、それもまた家族の笑顔の時間となることでしょう。



親子ひろば
10月27日(月) 自由遊び・紙芝居など
9:30～11:00

のこのこ食堂
10月20日(月) 開始時間 11:00～
(親子 100円) ※大人一人増えるにつき+100円

どの年齢の子どもさんにも
利用していただけます

親子リトミック
10月15日(水) 10:00～10:40 頃
(定員) 8組
申し込みが必要です(右のQRコードから)
動きやすい服装でお越しください




*** 開催場所について ***

日	10/27(月)	10/15(水)	10/20(月)
内 容	親子ひろば	親子リトミック	のこのこ食堂
場 所	白浜バプテストキリスト教会 白浜町 3137-9 (TEL 0739-45-8818)		



就学前の乳幼児とその保護者の方、妊婦さんも遊びに来てね。遊びながら、子育ての悩み等お話もできます。教会での開催時(のこのこ食堂)は、はまゆう病院駐車場をご利用ください。

授乳スペース、おむつ替えスペースあります

20日は月1回の、のこのこ食堂の日です。食堂利用のみ予約が必要です。利用される方は10月16日 **17時00分までにご予約**下さい。右のQRコード又は、電話にてご予約いただけます。
※NPO 法人白浜レスキューネットワーク子ども食堂事業の一環として、のこのこ食堂を開催します。



くまのっ子児童家庭支援センターのこのこ

連絡先 TEL・FAX 0739-45-8818



のこのこインスタ



のこのこ HP



G mail

